

往復している。	の上が目が滑り、同じ例文をずっと左右に	語学の勉強がうまく進まなくなっただ。活字	ルーチンワークに変化はないが、読書と	ではない誰かだ。	がみられる前に転職する。鍛錬すべきは私	栄冠を授けられた者に助勢し、勢いに陰り	私の哲学はこれとはやや異なる。勝利の	者より、直ちにこれを奪う」	と同時に、一勝に満足して治平に安んずる	して既に勝てるものに勝利の栄冠を授くる	『神明はただ平素の鍛錬に努め、戦わず	している。	昔、秋山という参謀は、こんな言葉を残	細の数字が増えていくことを実現している。	ルーチンワークをこなすだけで毎年給与明	我々のサービスを求めていることは、私が	資料作成、社内会議の繰り返しだ。時代が	日々が続いた。毎日4回のリモート営業、	帰国後の1ヶ月は、代わり映えのしない
---------	---------------------	----------------------	--------------------	----------	---------------------	---------------------	--------------------	---------------	---------------------	---------------------	--------------------	-------	--------------------	----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------

。

ケ	映			差	り	ら	い	で	を	期	苛	い		真	が	な	だ		
ー	っ	教		は	、	ず	な	あ	受	限	烈	て	も	意	依	い	。	一	原
ジ	た	育		何	な	、	か	り	け	が	な	。	う	を	頼	仕	表	つ	因
の	の	研		に	お	他	っ	、	入	来	競	彼	一	測	し	事	面	は	ら
利	であ	究		よ	か	の	た	哀	れ	れ	争	ら	つ	り	た	だ	上	、	し
用	ろ	機		も	つ	生	が	れ	る	ば	を	は	は	か	か	。	は	ペ	き
を	う。	関		の	此	殺	、	な	。	業	戦	真	、	ね	っ	し	ル	ネ	も
開	。	へ		であ	方	与	小	生	私	績	い	理	研	て	た	か	丨	ト	の
始	三	の		ろ	に	奪	野	き	に	に	、	探	究	い	のは	し	チ	レ	は
し	は	導		う	近	を	寺	方	は	よ	つ	求	者	た	何	、	ン	丨	2
た	我	入		か。	い	握	は	で	理	ら	か	の	と	っ	だ	あ	ワ	シ	つ
	々	実			匂	る	研	あ	解	ず	の	た	い	た	っ	の	丨	ョ	あ
	の	績			い	側	究	る	し	ク	間	め	う		た	会	ク	ン	る
	包	が			が	の	者	と	か	ビ	の	に	職	の	議	議	を	テ	。
	括	魅			し	人	に	し	ね	に	薄	人	能	か	室	室	崩	ス	
	的	力			た	間	も	か	る	な	給	生	集	。	で	で	す	ト	
	パ	的			こ	で	か	思	生	契	を	を	団	そ	小	野	こ	の	
	ッ	と			の	あ	わ	っ	き	約	得	捧	に	の	寺	と	の	件	
								て	方		て	、	つ						

部門を立ち上げました。より正確には、農業	切るとともに、新規にアグリビジネス研究	あると睨んで、自社の研究員の3割の首を	小野寺は、このメガファームがドル箱で	81%、78%、91%を占めるに至っています。	稲、麦類、大豆の総収量のそれぞれ	せると、日本の農地面積の75%を占め、水	のメガファームの経営耕地面積を足し合わ	ファームにより割拠されています。これら	ト部隊への司令権は、今や3つのメガ	日本国内に126箇所設置された農業用ロボッ	「まずは前提となるデータを共有します	終えてから私は口を開く。	午後の会議が始まった。調査資料を配り			のらしい。	シヨンズ・リサーチ・サードビスのためのも	ら新たに開発と導入を請け負ったオペレー	ケジュールされた。HEXが農業関係の企業か	ペネトレーションテストは2ヶ月後にス
----------------------	---------------------	---------------------	--------------------	-------------------------	------------------	----------------------	---------------------	---------------------	-------------------	-----------------------	--------------------	--------------	--------------------	--	--	-------	----------------------	---------------------	-----------------------	--------------------

系	の	国	立	研	究	機	関	の	研	究	室	を	買	収	し	、	そ	っ	
く	り	そ	の	ま	ま	カ	ッ	ト	ア	ン	ド	ペ	ー	ス	ト	し	た	、	
と	い	っ	た	方	が	よ	い	で	し	ょ	う	。							
	と	こ	ろ	が	、	国	研	に	は	セ	キ	ユ	リ	テ	ィ	の	プ	ロ	
が	お	ら	ず	、	ま	た	自	社	内	で	独	自	な	セ	キ	ユ	リ		
テ	ィ	対	策	を	開	発	運	用	し	た	場	合	、	万	が	一	の	際	
に	三	が	全	責	任	を	負	わ	ね	ば	ば	な	ら	な	く	な	る	。	
そ	う	考	え	た	小	野	寺	は	、	教	育	研	究	機	関	向	け	に	
国	際	的	に	実	績	が	あ	る	我	々	の	サ	ー	ビ	ス	を	利	用	
し	ょ	う	と	考	え	た	わ	け	で	す	。								
	我	々	の	責	務	は	、	セ	キ	ユ	リ	テ	ィ	ソ	フ	ト	ウ	エ	
ア	の	提	供	、	サ	ー	バ	ー	の	構	築	お	よ	び	保	守	管	理	、
そ	し	て	二	回	程	度	の	ペ	ネ	ト	レ	ー	シ	ョ	ン	テ	ス	ト	
の	実	施	と	報	告	で	す	。	前	者	二	つ	に	つ	い	て	は	、	
ベ	ー	シ	ッ	ク	パ	ッ	ケ	ー	ジ	ド	へ	の	契	約	と	い	う	だ	
け	で	す	が	、	ペ	ネ	ト	レ	ー	シ	ョ	ン	テ	ス	ト	に	つ	い	
て	は	今	後	一	ヶ	月	程	度	で	詰	め	の	協	議	を	行	い	、	
二	ヶ	月	後	の	実	施	、	三	ヶ	月	以	内	に	技	術	レ	ポ	ー	
ト	を	提	出	す	る	予	定	と	な	っ	て	い	ま	す	。				

たり	類	調		我	塵	ん		る	ら	本		さ	た	ん	す	ア	や	入	
り	全	査	第	々	も	だ	「	わ	、	当	「	。	め	、	る	ン	な	を	「
1	員	に	一	の	ない	わ	う	。	あ	に	え	」	の	不	ゲ	ト	い	完	僕
日	に	よ	、	領	い	け	ん	そ	の	ロ	え		証	可	ー	も	。	全	も
3000kcal	同	れ	世	分	。	で	、	れ	可	ボ	、		拠	抗	ム	こ	ロ	に	そ
食	じ	ば	界	だ	な	我	今	は	愛	ッ	解		づ	力	さ	ち	ボ	シ	う
べ	量	、	は		す	々	日	人	そ	ト	っ		く	で	。	ら	ッ	ャ	思
ら	行	世	食		べ	が	の	道	う	た	て		り	す	悪	も	ト	ッ	う
れ	渡	界	料		き	責	状	的	な	ち	い		。	っ	い	傷	が	ト	さ
る	ら	で	で		こ	任	況	に	国	が	る		そ	て	の	一	暴	ア	。
。	せ	生	溢		と	を	は	・	の	パ	わ		れ	言	は	つ	走	ウ	も
彼	た	産	れ		を	感	彼	・	人	ニ	。		を	っ	僕	負	し	ト	ち
の	場	さ	い		な	じ	の	・	々	ッ	け		依	て	ら	わ	始	す	ろ
国	合	れる	る		す	る	国	」	は	ク	れ		頼	裁	じ	ない	め	る	ん
一	、	穀	。		、	必	の	私	食	を	ど		さ	判	ゃ	い	て	ゲ	、
国	一	物	FAO		こ	要	人	が	い	起	も		た	で	あ	し	も	ー	こ
の	人	を	の		れ	は	々	遮	物	こ	し		の	勝	り	か	ク	ム	れ
	あ	人			が	微	が	。	に	した	も			て	ませ	け	ライ	じゃ	侵

攻	お	供	限	バ	シ			省	切		て	な	は	成			さ	め	食	
撃	よ	さ	定	ー	ョ			し	っ	も	・	応	そ	す		Mich	。	た	料	
の	び	れ	す	上	ン			た	た	う	・	用	の	る	el	は	ら	な		
〜	イ	て	る	の	テ			が	。	い	・	さ	勾	。		畳	お	ん		
つ	ン	い	こ	ロ	ス			、	僕	い	。	。	配	そ		み	釣	ぞ		
の	ス	る	と	ボ	ト			一	ら	わ	」		に	し		掛	り	、		
い	タ	API	、	ッ	の			貫	も	と			比	て		ける	が	世		
ず	ン	に	攻	ト	タ			性	皮	呆			例	、		る	来	界		
れ	ス	対	撃	指	ー			の	肉	れ			す	食		く	る	の		
か	の	す	は	揮	ゲ			た	が	た			る	料		ら	い	穀		
ま	解	不	デ	管	ッ			め	過	Nicolson			ざ	の		い	の	物		
た	放	正	ー	理	ト			に	ぎ	は			る	流		言	量	を		
は	ポ	な	タ	イ	を			表	た	議			神	れ		う	に	ち		
両	ー	リ	連	ン	ク			明	な	論			の	フ		。	な	ょ		
方	ト	ク	携	ス	ラ			を	、	を			手	ッ			っ			
を	に	エ	向	タ	ウ			保	と	打			に	ラ			る	と		
タ	対	ス	け	ン	ド			留	内	ち			よ	ッ			な	掃		
ー	す	ト	に	ス	サ			し	心	反			っ	ク			る	き		
	る		提	に	ー			た	反	ち				ス				集		

、

。

